

二〇〇七年度 人間科学研究科 小論文

次の第一問、第二問の両方に答えなさい

第一問 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(答えは解答题用紙に書くこと)

(島園進「現代日本と『宗教』 ―超越的普遍性の理念とその相対化―」二〇〇四年による。)

問題一 著者の考えにしたがって、丸山眞男と西谷啓治の「宗教」のとらえかたの共通点をいくつか挙げてください。(字数制限なし)

問題二 日本人は無宗教であるといわれることについて、右の文章を参考にしながら、自分の考えを述べてください。(字数制限なし)

修士課程

人間科学研究科小論文問題

第二問 神谷美恵子氏は「生きがい」について次のように記述しています。

(神谷美恵子著『生きがいについて』みすず書房より)

ここに示されているように、かつての多くの日本人は何らかの生きがいを持って生きてきました。しかし、科学が進歩し、物質は豊かになり、情報は大変便利な、生活しやすい社会になってきたにもかかわらず、それに反比例するように現代日本社会は「生きがい」の持ちにくい社会になってきています。この背景と原因を考察し、「生きがい」を持ち易くしていくためにはどのような社会にしてい くべきか論述して下さい。(字数の制限はありません)